

萬龜

文由閣竣工

特別号
No.2

檀信法会館
文由閣



住職挨拶 記憶の種が芽吹くとき

今年も真夏の甲子園球場にサイレンの音が響き渡り、選手や監督、そしてスタンドの大観衆も一斉に立ち上がり黙祷しました。幼いころからずっと見てきた光景です。昭和十六年、理由を明かされぬまま、学生生徒のスポーツの全国大会を禁止するという通達が出され、その後は戦況の悪化とともに多くの野球選手が帰らぬ人となってしまったと聞いています。今年は戦後七〇年の年、少しずつ失われていく記憶を、次につなげていかねばならない時がきているのだと思います。

檀信徒会館・文由閣が竣工してから早三カ月、すでに多くの方に東長寺の新しい供養の形、結の会にご入会いただきました。皆さまにご理解いただけるかどうか、多少の不安を感じておりましたので、今やつと胸をなで下ろしているところでございます。

文由閣の完成披露の際には、ご尽力いただいた設計・建築業者の皆さま、仏具・内外装を製作いただきました職人の皆さまをお招きし、完成の日まで出会うことのなかった方々が一堂に会しました。互いに喜びを分かち合いつつ、完成までの多難の時期を振り返り、各関係者の方からそれぞれにお言葉を頂戴いたしました。

技を極めた方々から紡ぎ出された金言の数々にはひたすら感銘を受け、季節も相まったその熱い夜のことは生涯忘れることのできない私の新たな出発点として強く心に刻まれました。



この度、文由閣建立ならびに結の会を発足したことが、私にとって僧侶としての原点となりました。東長寺ではこの新たな門出を記念し、「^{えこう}回向——つながる縁起」展を実施しております。東長寺が文由閣建立ならびに結の会発足に込めました想い、さらには今後の東長寺の活動の一端、その所信表明をご覧いただけるかと存じます。

本展のオープニングトークをお願いした現代美術家の蔡國強氏との付き合いは長く、初めてお会いしたのは母に連れられて彼の作品制作を手伝うボランティアに参加したときのこと、私がまだ一〇歳のころでした。中国大陆の奥地、荒涼とした広大な砂漠と凍えるほどの寒さは、私の心象風景のひとつと言えます。かの地で『万里の長城を二万メートル延長するプロジェクト』に参加し、作品に使用される火薬の火種を地面に植えていくというお手伝いをいたしました。しかし今思えば、あの体験で何かの種を植えられていたのは私の方だったような気がしております。蔡國強氏は火薬を用いた作品制作で世界的に高い評価を得ていますが、ただ美しい作品をつくることに終始せず、つねに作品を介して世界が抱えるさまざまな問題を提起しておられます。私自身も東長寺を通して人々が社会へとつながっていくような、活動をしてまいりたいと思っておりますのは、幼いながらに植えられたあの記憶の種が、いま少しずつ芽を出しているからなのかもしれないと感じているところです。

まもなく秋のお彼岸となります。文由閣の紅葉も今より色づき始め、寒さが増すにつれ見ごろとなつてまいります。山内一同、皆さまの御参詣を心よりお待ち申し上げます。

合掌

東長寺住職

瀧澤遙風

もくじ

- 02 住職挨拶 記憶の種が芽吹くとき
- 04 平成二十七年六月八日 文由閣初日
- 06 文由閣プロジェクト始動
- 08 『回向——つながる縁起』展開幕
- 10 行持案内(平成二十七年十月～十二月)

『萬亀』アンケートをホームページで実施中
お答えいただいた方の中から【50名様】に
東長寺特製手ぬぐいをプレゼントさせていただきます。
<http://www.tochoji.jp/banki>



平成二十七年六月八日 文由閣初日

平成二十七年六月八日に文由閣は竣工を迎えました。すべての行持に先立ち、同日執り行われたのが、開眼法要と先住忌です。

開眼法要

開眼法要とは、仏像、仏画や位牌、仏壇、墓などを新たに設置する際に行う法要で、魂入れ、点眼などとも言われるものです。仏像をつくる際、最後に眼を描くことが儀式化されたものですが、現在は、すでに眼も描かれ完成した仏像などに魂を入れるという意味があります。

文由閣では、慈嶽堂阿弥陀如来像と、龍樹堂地藏菩薩像のふたつの開眼法要を執り行いました。導師は、東長寺前住職・現真光寺住職である岡本和幸老師。お唱えする経は、「如来十号」。これをもって、両仏像に魂が入り、真に文由閣の完成を迎えました。



先住忌

文由閣竣工の六月八日は先代住職、東長三十三世重興慈嶽和夫大和尚の命日でもあります。開眼法要に引き続き、先住忌を執り行いました。

慈嶽和夫大和尚が現在の本院を竣工させたのが平成元年。住職就任と同時に新堂建立の機会に恵まれ、新時代の幕が開けました。四半世紀の時を超え、東長寺は奇しくも歴史の足跡を辿るかのよう

に、同じ機会を授かりました。遺弟である慈舟遥風和尚が住職に就任するとともに、文由閣が誕生したのです。六月八日、この日は未来の東長寺の始まりの日であり、また先代の想いが継がれた運命的な日になりました。

導師は、開眼法要と同じく、

岡本和幸老師。



文由閣と地蔵袈裟

文由閣竣工に際し、新しい御袈裟を製作いたしました。意匠様式は龍樹堂地蔵菩薩にちなんだ「地蔵袈裟」を採用しました。濃い色の縁とその内布の接ぎで構成された模様で、お地蔵様がよく継ぎ接ぎの衣をまとっていたことからそう呼ばれているそうです。縁は織り唐草の絹地、内布は三本絹。三本絹とは、横糸三本おきに縦糸を交差させて織ること

で、横方向に透き目をつくる織り方です。龍樹堂にちなみ龍の絵柄が入りました。また龍樹菩薩は大乗仏教の祖、空を説いた方です。それにちなみ雲や空も描かれ、その世界観が表現されました。

製作は、京都の法衣仏具製作店「株式会社松本屋」の手によるものです。この度は皆さまよりこの御袈裟を新調賜り、開眼法要の際に山内僧侶がま

としました。皆さまにお礼を申し上げます。



文由閣プロジェクト始動

酷暑の中、文由閣を取り囲む木々に水やりをしている夕刻、車の排気ガスにも負けず咲いている花々を見てみると、心が軽くなるような気持ちになります。劣悪な環境の下では、想定していたほどには元気ではない様子。これから二年、冬の間は枯れている状態になりますが、春先から梅雨時に新芽が出て、夏にまたきれいな花を咲かせてくれることを心より願っています。

文由閣が竣工してからもうすぐ三カ月が経とうとしています。現在は、これから何十年も運営していく準備段階にあり、「あれが足りない」「ここをこうしたい」など、日々確認を重ねているところです。同時

に、「結の会」の募集も始まり、法要や納骨式もすでに執り行うなど文由閣は動き始めています。

文由閣は檀家の皆さま、縁の会の皆さまのお力添えて建立することができました。ご協力いただきました皆さまには、あらためて御礼申し上げます。

ご法要やお参りにお越しの際には、ぜひお立ち寄りいただき、現代技術を使った建築と伝統工芸に彩られた仏具をご覧いただけたらと存じます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

東長寺檀信徒会館「文由閣」館長 手島涼仁



文由閣プロジェクト活動報告

東長寺では、これから日本の文化の源泉である伝統技術や地方の環境、人材に対して、広く協働活動と支援を行ってまいります。現在進行中のものやこれから始動するもの、またこんなことを行ってみたいなど、行う地域や場所、協働する人、そしてその内容などさまざまですが、今後『萬亀』誌上にて、ご報告を行ってまいります。今回は地方寺院の樹林葬墓苑のプロジェクトと、震災復興の一助としての宮城県気仙沼での活動報告です。

気仙沼震災復興報告会

清涼院副住職 三浦賢道師と、シャンティ国際ボランティア会(SVA)気仙沼事務所職員の笠原一城が、東日本大震災以降の当地で行った活動の報告、今後の活動「あつまれ、浜わらす!」をご紹介します。震災の記憶を風化させず、そして未来へ羽ばたく子どもたちに思いを馳せるため、ぜひご参加ください。

- 日程… 9月23日「水・祝」
- 時間… 11時45分、12時45分、13時45分、14時45分の4回実施 *各回30分程度
- 場所… 文由閣三階 講堂
- お申し込み不要

真光寺樹林葬墓苑プロジェクト

真光寺は、千葉県袖ヶ浦市にある曹洞宗寺院。東長寺前住職の岡本和幸師が住職を務めています。真光寺は平成十八年から真光寺縁の会墓苑として「樹木葬」を行っており、現在約一、五〇〇名の方と永代供養のお約束をしています。今回のプロジェクトでは、その樹木葬墓苑の一角を東長寺専用の埋葬地とし、遺骨を分骨して文由閣内納骨堂とこの樹林葬墓苑に埋葬を行う「両墓制」という葬送を提案しています。現在、埋葬予定地を岡本住職はじめ真光寺の職員が整備中です。



あつまれ、浜わらす！

二〇二一年三月、現代に生きる私たちは忘れてはいけない経験をしました。東長寺では、東日本大震災の二カ月後より避難所となっている宮城県気仙沼市本吉町の清涼院（三浦光雄住職）に通いながら、被災者の方々とともに復興のお手伝いをしてまいりました。あれから四年半、現地での復興活動はまだまだ続いておられますが、東長寺が本年より関わっていくことになりました活動をご紹介します。それが「あつまれ、浜わらす！」です。震災で猛威を振るった自然の恵みをもう一度見直す活動です。子どもたちが自然体験活動を通じて地域の「自然・人・暮らし」に関わり、「生きる力」を身に付けていくプログラムです。現在は地元の子どもの子どもたちが中心ですが、東長寺は東京の子どもたちとの交流も視野に入れ、活動を支援していく予定です。



筏用の竹を運び出す



本吉の子どもたち



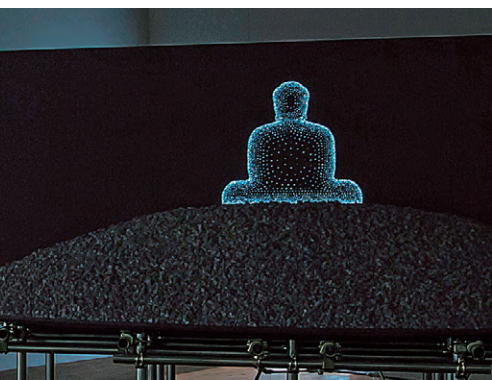
みんなで作った筏で海を走る

曹洞宗 萬亀山 東長寺「結の会」発足並びに「文由閣」建立記念

『回向——つながる縁起』展開幕

七月十一日(土)、「結の会」発足と「文由閣」の建立を記念した展覧会「回向——つながる縁起」展が開幕しました。仏教用語「回向」に焦点をあて、東長寺が新たに提案する、次代の寺院のありようをご紹介します。主会場は、東長寺本院の向かいに位置する「東長寺文化局P3」^{ピースリー}。開幕記念レセプションには、参加アーティストのインゴ・ギュンター氏らが集い、多くの来場者とともに開幕をお祝いしました。

翌七月十二日(日)は、横浜美術館で大規模な個展を開催中の蔡國強氏^{さいこくきょう}を迎えトークイベントを開催。P3代表 芹沢高志、東長寺住職 瀧澤遙風と「記憶の継承」をテーマに語り合いました。二十数年前、東長寺は、まだ実績の少ない若



インゴ・ギュンター氏



トークイベントの様子。左が蔡國強氏。

手作家だった蔡氏と、地下講堂(現・羅漢堂)にあった「文化局P3」を拠点に、展覧会『原初火球』、中国での『万里の長城を一万メートル延長するプロジェクト』など、数々の先駆的な活動に取り組みました。

当時の活動が、現在の自分の原点になったと語る蔡氏に対し、住職瀧澤は、幼少期に触れた蔡氏の芸術活動が原体験となつて、東長寺が次代の文化づくりに積極的に関与していく「結の会」や「文由閣プロジェクト」の構想が育まれたと語ります。先人の記憶が継承され、新たな文化が芽生える。展覧会のタイトル「回向」をまさに体感する時間となりました。

本展は、『継ぐ』『結う』『紡ぐ』『響く』『繋ぐ』『続く』の六つの観点から「回向」を捉え、三カ月 にわたり五感で味わう多彩なプログラムを展開しています。P3会場では、『継ぐ』『結う』『紡ぐ』『響く』『繋ぐ』『続く』を展覧会として開催し、東長寺を会場とする『紡ぐ』『響く』『繋ぐ』では、トーク、音楽イベント、ワークショップを開催します。

【第三巻 紡ぐ】

トークイベント「記憶の物語」

定員：各回50名(要予約/先着順)

・9月18日[金] 18:30開場/19:00開演

「人間はどこからきたのか」

ゲスト：高梨直紘

(天文学普及プロジェクト「天プラ」代表・東京大学 特任准教授)

ナビゲート：芹沢高志

・10月2日[金] 18:30開場/19:00開演

「知恵の記録」

ゲスト：石川直樹(写真家) | ナビゲート：芹沢高志

【第四巻 響く】

音楽イベント「響く心、響く声」

定員：各回100名(要予約/先着順)

・9月27日[日] 15:00開場/17:00開演

evala(音楽家・サウンドアーティスト)

・10月9日[金] 18:30開場/19:00開演

演目「月蓮雫～スタソーマ物語より～」

ウロツテノヤ子(バリガムラン)+津村禮次郎(観世流能楽師)

+ 安福光雄(太鼓)

【第五巻 繋ぐ】

ワークショップ「過去と未来を繋ぐ術」

・10月3日[土] 14:00-17:00

「土地の記憶」

講師：杉浦貴美子(ライター・写真家)

定員：15名(要予約/先着順)

【文由閣ガイドツアー】

・9月26日[土] 16:00より

ガイド：手島涼仁(文由閣館長)

定員：10名(先着順)

【開催概要】

会期：2015年7月11日[土] - 10月12日[月・祝]

開館日：毎週月・金・土・日

特別開館：7/14[火]-7/16[木]、9/22[火]-9/24[木]

休館日：毎週火・水・木、8/14[金]-8/17[月]

会場：東長寺文化局P3

時間：11:00-17:00

* 金曜日および夜イベント開催時は19:00までオープン

料金：無料 * 一部有料イベント有

イベント予約・お問い合わせ：東長寺文化局P3

tel: 03-3353-6866 http://p3.org/echo/

【第一巻 継ぐ】

《Seeing Beyond the Buddha 佛陀の向うに観る》— 1

イン・ギンター(美術家)

仏教では教えを「経」と言い、それは糸を通じて教えを過去から未来へと、時代を経て伝えていくものとして表されます。あまねく光を集めてかりそめの姿を現す佛陀像。五、五三本の光ファイバーが展示空間に光を運び、お釈迦様の教えを表現しています。展覧会終了後は文由閣一階に設置されます。

【第二巻 結ぶ】

壁面展示「回向の加速装置」— 2

これからの東長寺の思想と諸活動を、壁面全体に構成した文章や写真などご紹介しています。文由閣の設計思想、結の会と文化・地域支援活動、東長寺と日本各地の伝統工芸や寺院とのつながりを表現

したマップなど、東長寺が提案する次代の寺院のありようをご覧ください。

《回向/ECHO》— 3

山城大督(美術家・映像ディレクター)

三台のモニターに現れては消える、いくつもの光景。時間や地域を越えた繋がりが循環し続けることで次代が創造される、東長寺が提唱する「回向」のひとつのありようを表現した映像作品です。

《文由閣模型》— 4

大橋重臣(別府竹細工伝統工芸士)+池将也(竹工芸家)

竹細工の伝統技法「縄目編み」「菊底編み」「網代編み」を巧みに組み合わせ生まれた文由閣模型です。「パシブハウス」として計画された文由閣のように、自然を活かす人の知恵が随所に生かされた作品です。

《東長寺本院模型》— 5

松野勉(建築家)+水谷勉(建築家)



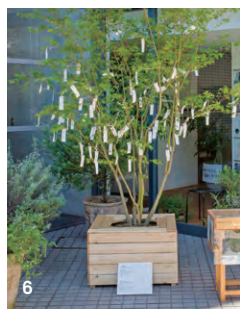
繊細かつ力強い手漉きの楮(こうぞ)和紙を素材に制作された東長寺本院の模型です。伝統工芸に現代的解釈を加え制作された本作品は、「伝統とは革新の連続である」という、東長寺の基本姿勢を表現しています。

【第六巻 続く】

《念願の木》— 6

オノ・ヨーコ(美術家)

世界各地で行われている《念願の木》では、札に願い事を書いて枝に吊るします。この札は展覧会終了後、アイスランドに恒久設置されたオノ・ヨーコ作品《イマジンピース・タワー》に送られ、光の束となって成層圏に照射されます。



山内行持／イベントおよび教室のご案内（平成二十七年十月―十二月）

フリーダイヤル
0120-3351850は
昨年末にて停止いたしました。
ご了承ください。

【山内行持のご案内】

秋の例大祭千手観音・十六羅漢供養

「千手観音」は千本の手のそれぞれの掌に一眼をもち、「千手千眼観音」とも呼ばれております。千の慈手と慈眼は、生きとし生けるものすべてを漏らさず救済しようとする観音さまの慈悲と、力の広大さを表しています。「羅漢」は悟りを得た最高位の仏弟子に付けられた尊称で、特に優れた16人の弟子を十六羅漢といいます。仏の教えが絶えることのないよう常に守護し、この世に住して迷い苦しんでいる人々を救って悟りの境地に導いて下さいます。私たちを常に見守って下さる観音さまと羅漢さまを讃え、報恩感謝の法要を厳修いたします。縁の会会員のみなさん、檀信徒の皆さまもご参列ください。弔い上げならびに多宝塔への納骨法要「多宝塔諷経」は、午後1時半より執り行います。該当するご家族の方はできる限りご参列くださいますようお願いいたします。なお、ご遺骨は、当山にてあらかじめ納骨させていただきます。10月25日〔日〕までに電話、FAXもしくはハガキにてお知らせください。

・11月1日〔日〕

午後1時半より

・供養参加費（お布施）

五千円程度

（当日、受付にてお納めください）

・お申し込み・お問い合わせ

東長寺事務局…

03-3341-9746

（午前9時―午後7時）

時程	内容	場所
13時30分	多宝塔諷経	山門・多宝塔前
14時	受付開始	総受付
14時30分	千手観音・十六羅漢供養	本堂
15時30分	公演 出演…宝井琴調（講談師）	本堂
16時30分	おしのぎ（軽食）	食堂
17時	仏教文化講座	羅漢堂
18時30分	萬灯供養	本堂

年末年始の法事のお申し込み

年内の法事は、12月23日〔水祝〕まで受け付けております。翌年は、1月9日〔土〕から受け付けております。ともに3カ月前からご予約いただけます。

納骨堂の清掃について

羅漢堂、千手堂につきましては例年通り、位牌壇の清掃を左記の日程で行います。清掃中はお堂へのお参りはできません。清掃日時をご確認の上、お参りくださるようお願いいたします。

千手堂 12月3日〔木〕・4日〔金〕―羅漢堂 12月9日〔水〕・10日〔木〕

大掃除

・12月21日〔月〕午後1時より

山内の大掃除を、皆さまとご一緒に行いたいと思います。年間行事案内にて19日とご案内しておりましたが、都合により、右記の日程とさせていただきます。ご都合のつく方は、ぜひ、ご参加ください。

懺悔会・おもちつき

・12月28日〔月〕午前9時半より

懺悔会は、1年間の行いを懺悔し、心身ともに清浄にして来たる1年間のための災障消除を祈念いたします。佛の名を唱えながら何度も礼拝し、自分自身を見つめることが主眼の法要です。引き続き、お餅つきをいたします。山内すべてのお堂のお供え餅をつくりまします。皆さまにも、つきたてのお餅を召し上がっていただけます。

「イベントのご案内」

仏教文化講座

元旦を除く毎月1日は、羅漢堂にて左記の要領にて仏教文化講座を開設しています。檀信徒のみならず、広く一般の方にも参加していただけますので、お誘い合わせの上ご来山ください。なお、参加費は無料です。

毎月1日

開場…午後4時半／開講…午後5時

・10月1日[木]「法衣・袈裟について」

・蕨下敏也「株式会社松本屋」

・11月1日[日]「真光寺における樹林葬」

・椎野靖浩「真光寺縁の会事務局」

・12月1日[火]「清涼院における樹林葬」

・三浦賢道「清涼院副住職」

「ご報告」

募金活動・

秋彼岸会チャリティーバザー

ボランティアスタッフによる手づくりの作品を中心に取り揃えております。皆さまから頂いた着物や帯、浴衣、毛糸、生地などを利用して、いろいろなものをつくってみました。お手に取って、長く使っていただけでしたら幸いです。ぜひお立ち寄りの上、ご協力くださいますようお願いいたします。

・9月20日[日]—23日[水・祝]

午前10時—午後4時

「各種教室のご案内」

坐禅会

・毎週土曜日（12月はお休みします）

・時間…午後6時—午後7時半

・服装…坐禅を行いやすい服装

写経会

・毎月第2・第4木曜日（12月はお休みします）

・時間…午後2時—午後3時（文由閣の晩課に参加できるよう30分開始を早くしました）

・持物…小筆があればご持参ください。

・納経式は12月17日[木]午後1時より

・執り行います。

お経の唱和と經典講読の会

今期は「修証義」を学びましょう。実生活に照らし合わせながら、仏教徒としての生き方を模索したいと思います。

・毎月第3金曜日

・時間…午前11時半—午後1時

・参加費…一、〇〇〇円

・会場…東長寺本堂

折り紙教室

・講師…湯浅信江先生「お茶の水おりがみ会館」

・毎月第3木曜日

・時間…午後2時より

・受講料…三、〇〇〇円「材料費・お茶代込み」

・会場…カフェ「きあん」

水彩画同好会

・9月10日[木]・28日[月]

・10月8日[木]・26日[月]

・11月12日[木]・23日[月・祝]

・12月10日[木]

・時間…午後2時より

・参加費…一、〇〇〇円

・会場…カフェ「きあん」

暮縁の会「囲碁の会」

・9月10日[木]・24日[木]

・10月8日[木]・22日[木]

・11月12日[木]・26日[木]

・12月3日[木]・10日[木]

・時間…午後1時より

・会場…カフェ「きあん」

・連絡先…

042-563-0634「担当員」

03-3647-4779「担当河村」

そば打ち同好会

・9月28日[月]・10月26日[月]

・11月16日[月]・12月14日[月]

・時間…午前10時より

・参加費…一、五〇〇円

・会場…東長寺一階食堂

・連絡先…

042-557-4632「担当横山」

042-942-3930「担当舟木」

観世流謡曲教室のご案内

・講師…中島志津夫先生「観世流能楽師」

・9月10日[木]・17日[木]

・10月15日[木]・22日[木]

・11月12日[木]・19日[木]

・12月3日[木]・10日[木]

・時間…午後1時半より

・受講料…六、〇〇〇円「月ごと」

・会場…東長寺一階書院二の間

うたごえ茶房「ゆりかご」

・9月7日[月]・10月5日[月]

・11月2日[月]・12月7日[月]

・時間…午後2時より

・参加費…五〇〇円「ワンドリンク付」

・会場…カフェ「きあん」

仏教讃歌を歌う会

・指導…高部さち先生「藤原歌劇団準団員・ボイストレーナー」

・毎月第3金曜日

・時間…午後2時—午後4時

・参加費…一、〇〇〇円

・会場…東長寺本堂

秋期彼岸会法要

本年度の秋期彼岸会法要は、下記の通り厳修いたします。
万障お繰り合わせの上、御参詣ならびに御焼香くださいますよう御案内申し上げます。

記

9月23日[水・祝]	10:30	第1座	檀家・縁の会・結の会
※ 本年より第5座まで となりました。	11:30	第2座	檀家のみ
	12:30	第3座	檀家・縁の会・結の会
	13:30	第4座	檀家・縁の会・結の会
	14:30	第5座	檀家・縁の会・結の会

お塔婆のお申し込み

もうすぐ秋彼岸です。秋彼岸の合同法要の際には、1週間前までに、手紙、電話、FAX等にてお申し込みください。お申し込みの際には、お亡くなりになった方の俗名と、お申し込みになる方(志主)のお名前をお知らせください。

・お申し込み・お問い合わせ(午前9時～午後5時): 東長寺寺務局

〒160-0004 新宿区四谷4-34 | TEL: 03-3341-9746 / FAX: 03-3341-2150

『萬亀』アンケートをホームページで実施中

お答えいただいた方の中から【50名様】に、東長寺特製手ぬぐいをプレゼントさせていただきます。充実した誌面づくりのために、ご協力よろしくお願いいたします。

アンケート ホームページアドレス → <http://www.tochoji.jp/banki>



曹洞宗 萬亀山 東長寺

160-0004 東京都新宿区四谷4-34

(代 表) 03-3341-9746

(縁の会) 03-3353-6874

(文由閣・結の会) 03-5315-4015

<http://www.tochoji.jp>

(リニューアルオープンしました)